



創業より77年、ヤマサハウスは鹿児島に住まう方々の暮らしを守りながら、歴史を刻んできました。過去の地震や台風などの自然災害から復旧してきた知見を積み重ね、より災害に強い家づくりのために、たゆまぬ努力を続けています。

今回は、郷土に根ざした当社のレジリエンス住宅[®]のメソッドや、そこに込められた想いを深掘り。さらに、日々の暮らしとそのまま防災につながるアイデアや、いざという時に役立つ便利な防災グッズを、プロの視点から教えていただきました。ぜひ、皆様の暮らしを守る備えとして参考にされてください。

レジリエンス住宅とは、災害時の強さだけでなく、平常時の安全性や災害後の備えも兼ね備えた住まいのこと。



備えあれば憂いなし！

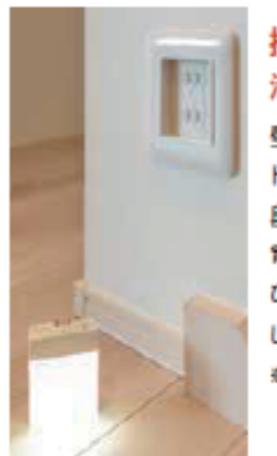
住まいが家族を守る家づくりを実現

全国の被災地へ足を運び
教訓として家づくりに活かす

ヤマサハウスでは、これまで1万棟を超える住まいを手がけてきました。日々の暮らしと防災の両立を家づくりの根底に据え、「災害に強い家づくり」を追求しています。災害は避けられないからこそ、備えが重要です。

防犯ガラスと防災窓

暴風による飛来物で破損しても、破片が飛散しない防犯ガラスが、当社の標準仕様。窓のサッシは耐風かつ、雨水の浸入を軽減する仕組みになっています。



携帯電灯としても活躍する保安灯

壁から外せばハンディライトにもなる充電式照明。普段は据え置き型として、停電などの非常時は持ち運び可能なライトとして活躍します。

*「CORRECT HOUSE」は標準仕様で、他ブランドはオプションになります。

転換点は、1993年の台風13号。戦後最大級と表現された台風は、鹿児島に甚大な被害をもたらしました。特に自立ったのが「瓦の飛散」。これを教訓に屋根

いざという時にお客様の暮らしを守る

当社は、自然災害など緊急時に事業を継続するためのBCP（事業継続計画）を策定。

災害発生時は、お客様からの問い合わせを受け、チームで現場を行っています。これは長年培ってきた災害に強い家づくりへの拘りがない自信があるからこそ。今後もお客様の安心できる暮らしを守るために、尽力し続けます。



施工の技術開発を進めました。
その結果、台風による被害は大幅に減少。また、私たちは災害のたびに全国の被災地へ足を運んで、自分たちの家づくりを見直し、改善を重ねています。

へ駆けつけます。被害状況を確認後、協力会社の職人と修繕作業を行い、お客様の不安を解消するよう努めています。一方で、万一小地震で建物が全壊しても、自己負担なしで販売価格まで建て替えを保証する独自のサービス「地震建替保証」も

認後、協力会社の職人と修繕作業を行い、お客様の不安を解消するよう努めています。一方で、万一小地震で建物が全壊しても、自己負担なしで販売価格まで建て替えを保証する独自のサービス「地震建替保証」も

ひとつ上の安全をつくる
家づくりのアイデアIdea 小屋裏空間やロフトは
② もしものときの避難場所に

平屋住宅の人気が高まっていますが、ロフトがあると普段使いに加え、いざという時の避難場所になります。

Idea 大型収納が備蓄スペースに。
① 備蓄品を収納しよう！

大型収納は、備蓄スペースとしても活用できます。いざという時のために、日頃からしっかりと備えましょう。

Idea 強風にも負けない！
④ 耐風瓦と独自の施工

耐風瓦を採用し、一枚ずつビスで留め、クリップで固定。台風時もズレることなく、強風から家を守ります。

Idea 太陽光発電と蓄電池で
③ 停電時も安心！

蓄電池は余剰電力を貯電できるほか、停電時も自宅で電気が使えるため安心です。災害の備えとしてもおすすめ。



住まいづくり探検ツアー

当社プレカット工場の見学などで、家づくりの基礎となる部分の強度などもしっかりお伝えします。

ぜひ、最新の防災設備を実際に見て体感できる
「住まいづくり探検ツアー」にお越しください！

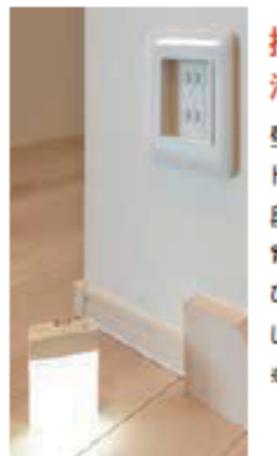
当社の家づくりのこだわりを体感できる「住まいづくり探検ツアー」。オーナー様の体験談や、実物大の構造模型で独自の工法を解説。防犯ガラスと標準ガラスの強度の違いや、透湿素材と一般素材の品質検証などご体感いただけるツアーです。

お申込みは
コチラから



防犯ガラスと防災窓

暴風による飛来物で破損しても、破片が飛散しない防犯ガラスが、当社の標準仕様。窓のサッシは耐風かつ、雨水の浸入を軽減する仕組みになっています。



携帯電灯としても活躍する保安灯

壁から外せばハンディライトにもなる充電式照明。普段は据え置き型として、停電などの非常時は持ち運び可能なライトとして活躍します。

*「CORRECT HOUSE」は標準仕様で、他ブランドはオプションになります。

転換点は、1993年の台風13号。戦後最大級と表現された台風は、鹿児島に甚大な被害をもたらしました。特に自立ったのが「瓦の飛散」。これを教訓に屋根

いざという時にお客様の暮らしを守る

当社は、自然災害など緊急時に事業を継続するためのBCP（事業継続計画）を策定。

災害発生時は、お客様からの問い合わせを受け、チームで現場を行っています。これは長年培ってきた災害に強い家づくりへの拘りがない自信があるからこそ。今後もお客様の安心できる暮らしを守るために、尽力し続けます。



被災地の視察

能登半島地震の視察では、耐震補強の重要性を再認識。その教訓を現在、リノベーションやリフォームの耐震補強計画に活かし、鹿児島の気候風土に合う長寿命の住まいを推し進めています。



企画開発本
主戸
都山 恵司

工学部建築学科卒業
後、2002年入社。設計や
施工技術マニュアル作成
などを経て、企画開発室
に。家の性能向上の研究
開発を主に担当する。